

令和6年度排球部OB会総会及び懇親会

去る8月18日に川越駅前のラ・ポア・ラクテにおいて、新型コロナウイルス感染症の蔓延により延期されていた排球部OB総会を平成29年以来、7年ぶりに開催しました。総会では、平成29年以降の活動報告と会計報告がなされ、役員改選が行われました。会長は田中健一さん（高34回、昭和57年卒業）から、中野文夫さん（高39回、昭和62年卒業）にバトンタッチしました。現役排球部員への支援とOBの交流の場であることを再確認し、若いOBの参加をどうするか？ ということ意見交換を行いました。その結果、例年1月3日に行われている現役とのOB戦終了後、速やかにOB会の新年会を開催することで、若いOBのOB会への参加のハードルを下げることと、各学年の責任者への働き掛けをしっかりとすることが決まりました。

総会のあと、引き続き、かつてご指導をいただいた萩原秀雄先生、池之谷伸也先生、村井恒夫先生、そして、現在ご指導をいただいている近藤 勉先生、斉藤峰希先生のご列席の下、懇親会を同じ会場で行いました。高16回（昭和39年卒業）の小高勇さんから高69回（平成29年卒業）の横田優吾さんまで、34名のOBが集まり、旧交を温めました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、来年の新年会、3年後のOB総会での再開を約束し、二次会へと場所を変え、更に旧交を温めました。

排球部としては、昭和51年の春高バレー、国体出場を頂点として、最後の関東大会出場は昭和54年、最後の県ベスト4は平成12年と、長い間、思うような成績は収めることは出来ておりません。しかし、現在現役部員は多く、活動が継続さえしていれば、いつかは川高排球部の復活を目にすることが出来るのではないかと我々OBは夢見ております。

川高ファイト！！

（文責 高35回、昭和58年卒 大谷晃司）

